

平成 23 年 5 月 12 日

当院骨粗鬆症患者における顎骨壊死・顎骨骨髓炎の  
併存割合に関する横断研究

【研究の意義・目的】

ビスフォスフォネート製剤は骨密度の増加を目的に、骨粗鬆症の治療に多く用いられています。しかしながら、その副作用としてビスフォスフォネート関連顎骨壊死・顎骨骨髓炎が報告されています。日本においては、経口ビスフォスフォネート製剤によりどのくらいその副作用が生じているのか、どの程度のリスクがあるのか、現在のところ詳細な検討はありません。本研究では、当院の骨粗鬆症の患者さんを対象に、経口ビスフォスフォネート製剤による顎骨骨髓炎・顎骨壊死のリスクに関して調査します。

【対象】

京都大学医学部付属病院で骨粗鬆症の検査あるいは治療を行なわれた全ての方

【調査期間】

2000 年 11 月より 2010 年 10 月までの 10 年間

【方法】

電子カルテにて調査を行います。これまでの資料を利用するため、本研究により対象者の方に有害事象が加わることはありません。

【個人情報の保護・公開・不参加の権利に関して】

全ての個人情報は連結可能匿名化によって保護されます。本研究の結果を公表する際、対象者の特定できない形で公表されます。研究成果は学会、論文および京都大学医学部付属病院歯科口腔外科ホームページ上で公開します。なお、本研究への参加に同意しないことをもって、不利益な対応を受けません。

本研究は 京都大学大学院医学研究科および医学部付属病院 医の倫理委員会 にて承認されています。なお、本研究に際し問い合わせ等がございましたら、下記窓口までお問い合わせください。

<研究機関名および窓口の連絡先>

京都大学大学院医学研究科感覚運動系外科学講座口腔外科学分野

住所:京都市左京区聖護院川原町 54

電話番号:075-751-3408 FAX 番号:075-761-9732

e-mail: [toruy@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:toruy@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

研究実施責任者:別所 和久 副主任研究者:山崎 亨